

○ “ふれあいの森”（おいらせ知の会）植樹活動

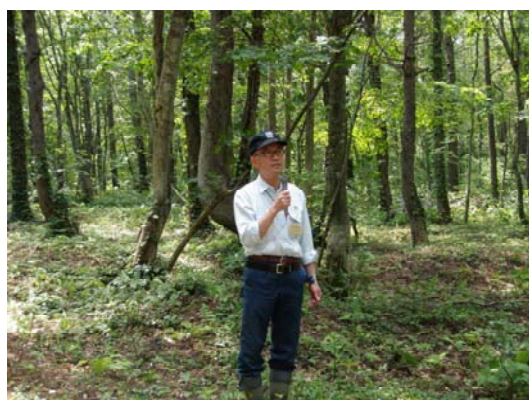
6月27日（土）、十和田市大字奥瀬字谷地国有林119林班内において、「川を守るためにみんなで植樹をしましょう」をスローガンに掲げ、河川浄化活動等を展開しているボランティア団体“おいらせ知の会”の植樹活動が行われました。

“おいらせ知の会”では、十和田市の中心を流れる奥入瀬川を始めとする河川の潤いある水辺空間や動植物の環境保全を図るため、川や水辺に関心を持つ地域住民が「かわ」のあり方について提言し、河川の浄化活動等を行っています。

当日は天候に恵まれ、小学生以下の児童を含む約35名の会員とその家族の方々が参加され、植樹前のセレモニーでは、田中会長の挨拶があり、続いて田尻署長がボランティアによる植樹活動への感謝の意を述べた後、模範植樹を行い、植樹を開始しました。

参加された会員の方々は、親子で助け合いながら、一生懸命にブナの苗木100本を植え、植樹後は、柳館流域管理調整官が「森林のはたらき」についての森林教室を行い、森林には二酸化炭素の吸収を始め、様々なはたらきがあることなどについて説明をしました。

その後、参加者全員で記念撮影を行い、奥入瀬川焼山まで下山して昼食をとり、当日の日程を終了しました。



田尻署長の挨拶



植樹の様子（その1）



植樹の様子（その2）



参加者全員で記念撮影